

# 納得するまで話し合う対話と協働も重視。地域とふれあう活動も活発



「南風台」と「美咲が丘」の2つの大きな宅地開発によってできた南風小学校。平成12年に開校し、令和元年度の児童数は約580人となっています。新設された校区のため、多くのことがゼロからのスタートでした。地域での顔見知りを増やすために、子どもたちを中心に融和を図ろうと、運動会や夏祭りなどのイベントは地域と学校が連携して行っています。

南風小学校では「対話と協働」を重視しています。子どもたちが自分の考えを持ち、物事を仲間と一緒に考え、問題解決のためにみんなが納得し合えるように話し合いをするものです。令和元年度の「対話と協働」ではテーマを決めてクラス全員、またはペアやグループに分かれて話し合います。話し合いも司会

も子どもたちが進め、教師は補助をするだけです。子どもたちは疑問に思うことや、問題を解決するために、いろいろな意見を出し合い、お互いに納得し合うまで対話を重ねます。

地域では子どもの安全を守るために、平成18年に「南風小見守りボランティア」を発足しました。ボランティアスタッフは、雨の日も暑い日も、1年間毎日1年生の下校時刻に集まり、自宅付近まで送り届けます。「おじちゃんたちが面白い。手品をしてくれるし、『今日は何が楽しかった?』って話してくれるのがうれしい」と子どもたち。「子どもから毎日元気をもらっていますよ」と話すボランティアスタッフ。この活動は地域と子どもたちを信頼関係で結んでいます。



「対話と協働」ペアになって話し合う子どもたち



ボランティアに見守られて下校します

